

5 報告（2）住民意見交換会について

①本納地区住民意見交換会

○日 時：5月9日(日)10時～、18日(火)19時～

○場 所：本納小学校体育館

○参加者：36名（21名[5/9(日)]+15名[5/18(火)]）

※当日の発言者の意見や提出のあった意見の概要

発言・提出意見の要旨	回答
（統合関連について）	
統合にあたり小学校と中学校のPTAをどう考えていくのが良いか。	小学校と中学校のPTAは、今後両校で話し合って進めていく。
仮に令和5年に新治小、令和8年に豊岡小が統合したときに教室数は足りるのか。	3校統合した際に必要な教室数は、通常の学級で20教室と見込んでおり、本納小・中学校は24教室あるため、足りると想定している。
一貫校になると具体的にどうなるのか。	学習指導では乗り入れ指導により、中学の先生が小学校に行って授業に参加することで、より専門的な授業が可能となる。中学生にとっては、小学生と一緒に行事を進める中で、手本となるような心も芽生える。小学生の立場では中学生と交流することで、感謝の気持ちを持つことにつながる。本納地区4校で目指す子供像を共有して取り組んでいく。
統合により小学校が1学年2クラスになると新校舎に全部入るのか。	小学校（新校舎）の教室で不足が生じたときは、中学校（既存校舎）の教室を使っていくことになる。
（校舎関連について）	
本納小の建設現場からガスが出たとのことだが、どのような対応をとるのか。	湧出ガスの濃度は高くなかったため、小学校（新校舎）は自然排気（通気孔等を設置）できるよう施工した。更にガス対策としてガス警報器を小学校（新校舎）に設置し、警報が鳴ったら窓をあける対策で考えている。本納中（既存校舎）は令和3年度の予算でガス警報器を設置する。常時ガスを検知することから、通年でガスを察知できる。
水害についてどのように考えているのか。	過去の大雨災害時に、校舎への浸水は確認されていない。新校舎の1階部分の床の高さは中学校（既存校舎）の高さと一緒にある。東側道路と床面までの高低差は1m位あるため、基本的に浸水することはないと想定している。
本納小が移転する前に本納中のグラウ	グラウンドやフェンスの整備については、予算の確保

ンドやフェンスの整備をしてほしい。	等に努めて教育環境の整備に尽力する。
本納小の校庭や体育館の有効活用はどのように考えているのか。	土砂災害警戒区域に指定されていることから、天候や安全性に十分配慮したなかで、できるだけ住民の方に利用いただけるよう検討していく。
（通学関連について）	
統合にあたり中学校周辺の通りは混雑するのではないか。	学校敷地内の北側に整備する駐車場以外に、橘樹神社やほのおか館の駐車場にもご協力いただき、朝の通学時間帯に使用できるよう進めている。混雑が予想されるため、小中で登校の時間帯をずらすなど、対応を検討していくことになる。
中学校周辺の道路幅員が狭い状況であるため道路整備をしてほしい。	北側の通りの本宿下踏切から橘樹神社にかけての道路の一部に歩道がないため、歩道整備に取り組んでいく。学校前の道路には、グリーンベルトを設置して安全対策に取り組んでいく。
本納小移転後はどのような通学ルートになるのか。	学校は、子供たちの家からどのルートを通ると一番安全に登校できるかを検討している。保護者からも子供たちの登校に際して、学校と情報を共有しながら進めてほしい。
（防災関連について）	
通学路や中学校周辺が浸水することがあったが何か対策はあるのか。	令和2年度から「茂原市小中学校の対応について」の統一基準を設けた。大雨警報等が出た場合、朝6時の段階で一斉に臨時休業とする。前日(夜8時)から警報が出ている場合は自宅待機とする。河川整備事業が進まないと抜本的な対策にはならないため、赤目川の改修事業、それに流れ込む乗川の整備に取り組んでいる。引き続き、県に対して事業推進を図るよう要望する。
（その他）	
学校の周辺での不審者や盗撮等の情報把握について。	学校からの情報提供が多い。随時、青少年指導センターや市生活課と情報共有している。市内の学校や地域には一斉に情報伝達をしている。
本納小移転後も引き続き旧本納小のグラウンドや体育館が使用できるよう検討してほしい。	—
避難経路の整備もお願いしたい。	—
本納中が避難場所であることに納得がいかない。	—
ガス警報器が鳴った際の対応・訓練について小中学生に指導してほしい。	—

②新治地区住民意見交換会

○日 時：5月11日(火)19時～、15日(土)10時～

○場 所：新治小学校体育館

○参加者：90名（40名[5/11日(火)]+50名[5/15日(土)]）

※当日の発言者の意見や提出のあった意見の概要

発言・提出意見の要旨	回答
（統合関連について）	
統合するにあたり、新治にいくという選択肢はなかったのか。	将来的に3校が統合するという方向性がある。通学等の児童の負担等を考えたとき、第一次実施計画では本納中付近を中心に場所を検討となった。
中学生のアンケートも、反対者数が賛成の2倍以上ということで、結果を無視して工事を進めるということが理解できない。	資料では、賛成的な考えの生徒が46名、反対的な考えの生徒が63名、両方の意見を書いた子は16名である。例えば小学生が騒いで事業に集中できなくなりそうという不安を書いたのは25あり、一つの意見にたくさんの人数が入っている。「テストに集中できなくなりそう」とか「工事の音がうるさくて勉強集中できないのではないか」という意見が13名いた。極力、授業に差し障りがないよう工事業者に依頼した。子供たちの意見に耳を傾けながら進めている。子供の立場からいろいろな意見を出しているので、今後も検討して進めたい。
（仮称）本納ニュータウンについて、市はどのようにみているのか。	事業者の情報を基に市で児童生徒数の推計をしているが、流動的であると考えている。業者からの情報によると、現在の事業計画では261戸であり、児童数の試算は、1戸あたり0.45人が来るという計算である。すべての戸数が完売となった場合には、児童数は延べ117人という見込みとなる。
豊岡小の統合や（仮称）本納ニュータウンを想定したときに教室は足りるのか。	児童数は令和8年度で最大270人と見込んでおり、教室数は足りる想定である。
乗り入れ授業はどんなねらいがあるのか。何年生ぐらいから始まるのか。	中学校の先生が小学生を教えることで、専門的な知識から子供たちを教えることが可能となる。小学校5年生、6年生を対象に計画をしている。
（校舎関連について）	
なぜ水害も多く、電車の騒音もあるなかで本納中の隅へ建てたのか。	候補地として、本納中敷地以外に本納駅周辺、本納のバイパス付近、本納駅東地区の地区計画区域内等を検討した。土砂災害の警戒区域に本納小が指定され、PTAからも移転を求める要望書の提出があった。市の計画にも合致していたので、既存校舎との連携も考え

	て決定した。騒音対策として窓には二重サッシを設け、また線路側の壁面にはできるだけ窓を設置しないなどの対策を講じている。水害対策については新校舎の高さは、本納中（既存校舎）と同じ高さ（床）にしている。なお、本納中（既存校舎）の校舎は、過去に浸水したことはない。
ガスの出る場所について、「防爆型」の機器は検討したのか。	調査会社からは、湧出ガスの濃度は高くないため、自然排気が良いとのことであった。停電時でも自然排気が常時できるような対策を講じる。また、ガスは空気より軽いため教室に溜まっているか検査するために、ガス警報器は天井付近に設置する。ガス警報器は全教室に設置する。ガスが上に抜けるよう通気孔を設け自然排気するよう安全対策を講じている。
（特認校関連について）	
小規模校や複式学級は駄目なのか。	一定の集団規模がある学習環境が、子供たちにとって望ましいものであるという考えの基に計画している。基本計画では複式学級が存在する学校は、速やかに統廃合するという方向性である。
特認校制度は有効ではなのか。検討はしたのか。	子供たちの人数はピーク時から比べると、半分に以下に減少しており、新治小やその周辺の学校で児童数が増えている学校はほとんどない。そうした現状で特認校を採用すると、小規模の学校が増えてしまうため、児童が減少している茂原市の現状には小規模特認校制度は適さないと考える。特定の学校について小規模特認校を採用するのではなく、市全体の小規模校対策を実施していく方針である。
新治小存続の為、小規模特認校を切望する。	新治小の児童数は急激に減少しており、現在 30 人という状況にある。35 年前は約 12,000 人弱だった市内の児童生徒が、現在、約 6,000 人弱で半分に減り、今後も減少傾向にある。市が定めた適正規模は、小学校は 12 クラス以上であるため、適正規模を満たすには、かなりの人数を他の学校から集めることになる。市全体の子供の数が減少していく中で、保護者が希望しているある程度の集団規模で学ばせるには統廃合をしないと解決できないと考える。
（跡地関連について）	
跡地利用について市はどのような方法で調査するのか。	各部署に照会をかけ、活用できる事業があるか調査する。それがなければ、民間に需要調査していく。新治小は避難所に指定されている。その機能は残した上で、跡地利用を考えることが原則的な考え方になる。選定

	する過程において、民間からの提案、また自治会からの要望等があればいただきたい。地域の方が受け入れられる施設で、また活性化できるような有益な施設になるように検討を進めていきたい。
(通学関連について)	
バス通学のメリットやデメリットについてどう捉えているのか。	運行費用については、二宮小学校では大型バス 1 台で年間約 700 万円を予算計上している（登校時 1 便、下校時 3 便）。メリットは、天候に関わらず安全に子供たちを学校まで送り届けることができる。デメリットは、体力の低下が考えられるが、学校教育全体で体力づくりの活動を充実させていく。
(その他)	
新治地区の環境の良いところに建てるのであれば理解できる。	—
もっと安全な場所に校舎を建て、小中一貫校を作っていただきたい。	—
話し合いを続けて早期に統合を進めていただきたい。統合に向けて、どうしたら子供たちがより安全に楽しく学校生活を送れるかを考えていただきたい。	—
バスで登下校させていただけると保護者にとっては安心である。	—
もう少し話し合いの機会を設けるべきである。	—
統合場所がとても心配である。	—
校名募集、新校歌などを検討してほしい。新治小の特色が消えるようなことは避けてほしい。	—
現在進行で子育てをしている世代の意見を尊重してほしい。	—
本納中の校舎は築年数が 60 年近く経っている。耐震はしているだろうが、次の建て替えの時に、安全な場所に小中一貫校を作って欲しい。	—
豊岡小を使用しての 3 校（本納小・新治小・豊岡小）統合を希望する。	—
子供のいる母親の切実で勇気ある発言。これが新治地区の本当の意見と思って、統合を早く進めてほしい。	—

③豊岡地区住民意見交換会

○日 時：5月15日(土)14時～、19日(水)19時～

○場 所：豊岡小学校体育館

○参加者：50名（35名[5/15(土)]+15名[5/19(水)]）

※当日の発言者の意見や提出のあった意見の概要

発言・提出意見の要旨	回答
（統合関連について）	
地区住民に対する説明も不十分で、住民は納得していない。理解を深めるため説明会を頻繁にして、地区住民が納得できるよう進めてほしい。	第一次実施計画で、本納地区は3小学校を統合し、特色ある教育を進める方向である。学校再編審議会から、豊岡小の統合は、令和8年4月1日までに統合という案が示されたので、今回この案について、皆様のお話を伺うということで、この会を開催している。
水害のある本納中の場所は最適なのか。	過去に校舎に浸水したことはない。大雨警報等が出た場合には、子供たちの登下校を制限して対応する。
（仮称）本納ニュータウンを見込んだR8年度の児童数は270人で11学級である。本納中の空き教室を活用して、小学生（高学年）が行くとしても可能か。	本納小中学校の教室は24あるため足りると想定している。子供たち（小学生）が中学校（既存校舎）を使用することも検証し、対応できると判断している。
（仮称）本納ニュータウンの児童数が予想以上に多かった場合は、豊岡小の統合は延期になるのか。	受入可能数を超える場合は考えなければならない。
特色ある教育とはどういうことか。	小中一貫教育である。小学校6年間と中学校3年間の学習のつながりを今まで以上に考えて指導していく。目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し系統的な教育を行う。行事についても可能なものは一緒に行う。また、中学校の先生が小学校へ行き、専門的な立場から子供たちに指導する乗り入れ授業を計画している。
グラウンドの使い方や遊具整備はどのようになっているのか。	本納中のプールを撤去し、遊具を設置する。民間のスポーツクラブで水泳学習を行う。体育の授業では、中学校のグラウンド、体育館、柔剣道場を割り振って使う。本納小のグラウンドは授業では使わない。
中学生たちが本納小を迎える気持ちができてきているのか。中学校でも説明したのか。	本納中の生徒へは先生から話はしている。また、アンケートもとっている。生徒たちの声を聞いて対応することについては対応している。
（校舎関連について）	
新しい本納小学校の場所は、水害やガス	ガスについては、ガス警報器を設置する。また、壁面

の心配がある。	に通気孔を設けるなどして、自然に換気されるようになる。水害については、大雨警報等が出た段階で臨時休業にするなど、大雨の中を子供たちが登下校することはないようにする。乗川の工事について、南白亀川水系の赤目川と一緒に進捗を図る。
新しい本納小に非常階段は設置しないのか。救助袋を使用する場合は、どのように避難するのか。	非常階段は設置しない。避難経路は内部階段の他に、2階と3階に斜降式の救助袋を設置する。救助袋では、南側のスペースに降りて、道路に出て避難する計画である。平常時から訓練はしていく。
(その他)	
豊岡小学校は自然豊かで、教育環境は素晴らしい。	—
安全な豊岡から、不安材料がある本納へなぜ行かなければならないのか。災害のないところで教育を受けられるようにしてもらいたい。	—
電車の音、水害の心配がある本納へ行くことには反対である。人数が少なくともいい教育はできる。	—
豊岡小で本納小と新治小を受け入れるので来てほしい。	—
豊岡地区が過疎化していくのではないかと心配である。	—

④五郷地区住民意見交換会

○日 時：５月９日（日）１４時～、１２日（水）１９時～

○場 所：五郷小学校体育館

○参加者：２６名（１６名[5/9(日)]＋１０名[5/12(水)])

※当日の発言者の意見や提出のあった意見の概要

発言・提出意見の要旨	回答
（統合関連について）	
統合に向けて学校選択制は導入するのか。	現在のところ学校選択制は検討していない。
具体的な学校再編案の統合時期は早まる可能性はあるのか。	学校再編審議会が示した再編案であり、まだ決定したものではない。審議会での審議結果によっては早まる可能性もある。
（通学関連について）	
通学における安全性の確保について具体的に聞きたい。	通学上、危険性が高いと想定される場所は随時把握している。一部、センターラインのない狭い道路があるため、歩道の整備を検討している。
中学生はスクールバスではなく、自転車通学が基本なのか。	中学生は自転車通学が基本である。
（防災関連について）	
土砂災害警戒区域に指定された南中の崖への対策は何かあるのか。	ハード面での対策は必要と考えている。どのような対策が適当であるか、庁内協議や現地調査などを行っていく。土砂災害警戒情報等が発表された際には、速やかに他の教室等に移動する。
（校舎関連について）	
南中には早野中の生徒が入れるだけの教室はあるのか。	早野中が統合した場合でも南中の教室数は足りている。
（その他）	
通学路の安全確保は、統合までに最優先で取り組んでほしい。	—
教える側の立場から学校再編を考えているように思う。学校再編では地域の実情、地域との関係を重視すべきである。	—
子どもたちのため統合時期を早めてほしい。	—
小規模校では切磋琢磨しながら成長したり、やりたい部活動ができなかったりする。	—
授業の充実・生徒指導の充実を図ってほ	—

しい。	
中学校に音楽や美術の先生が常勤できない現状は子供たちにとってマイナスである。	—
多種の部活動があることや他校の新しい友達と一緒にすることは、子どもたちの成長にとっては良いことである。	—
統合の移行期間を設けて、入学時に南中学校か早野中学校か選択できると、子供たちも安心できると思う。	—
一小一中、しかも小規模では社会的資質向上に不足が多いと思う。	—